



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

ご入学おめでとうございます

～ 新入生も在校生も引き締まった顔 ～

新入生のみなさん、保護者の皆様、ご入学おめでとうございます。コロナ禍ではありますが、入学式が挙行でき、本当によかったと思います。式での新入生一人一人の顔は、これから頑張るぞという緊張した面持ちでしたが、教室では担任の話を聞きながら少しずつ笑顔が見えるようになってきました。

また、在校生のみなさんも始業式の日、改めて緊張した様子で放送による学院長の講話を聞いていました。それぞれ新しい学年での抱負があると思いますので、ご家庭でよく聞いてあげていただきたいと思います。目標を言葉や文字にしてみることでモチベーションを上げるという方法は、効果的であると言われています。折に触れ、お子様が考えた目標を話題にして、そして、ご家族で支えてあげていただきたいと思います。

しばらくコロナ対応が続くかと思いますが、1年間よろしく願いいたします。



2021年4月号

2021年度の小学部教職員です。
よろしく願いいたします。

- | | | | |
|------------------|------------|-------|---------------|
| 1 松 中嶋 | 1 菊 田村 | 音楽・図工 | 小野崎 (1年) |
| 2 松 吉田 | 2 菊 福井 | 図工 | 大隅 (2年) |
| 3 松 松坂 | 3 菊 井上 (貴) | 音楽 | 鶴田 (2年) |
| 4 松 會田 | 4 菊 宇井 | 体育 | 門脇 (1～3年) |
| 5 松 小金沢 | 5 菊 目戸 | 体育 | 武井 (4～6年) |
| 6 松 小林 | 6 菊 富田 | 音楽 | 渡辺 (3～6年) |
| 理科 藤田 (4～6年) | | 情報 | 佐野 (3～6年) |
| 図工 小林 (林) (3～6年) | | 仏教 | 大隅 (1～6年) |
| 家庭 小野崎 (5、6年) | | 総合 | 井上 (健) (3～6年) |
| 書道 藤原 (1～6年) | | 読書 | 高橋 (由) (1～6年) |
| 英語 高橋 (裕)、 | | ジャニス、 | シャーロット |

- ・副学院長 押田
- ・教頭 山田 (3年～6年総合的な学習)
- ・副教頭 福本 (3年理科) ・養護教諭 菊地
- ・事務職員 石井 ・カウンセラー 二宮

☆下線部：本年度着任教職員

4 月 行 事 予 定

- | | |
|------------------------|---------------|
| 2日 始業式 | 19日 朝会 (放送) |
| 3日 入学式 | 1年生を迎える会 (放送) |
| 5日～7日 | 23日 仏教朝礼 (放送) |
| 新入生保護者ガイダンス | 24日 休業日 |
| 7日 脊柱検査 (5年) | 27日 健康診断予備日 |
| 10日 休業日 | 28日 縦割り集会 |
| 13日 委員会 | 29日 昭和の日 |
| 15日 健康診断 (1, 2, 3, 5年) | 30日 仏教朝礼 (放送) |
| 16日 健康診断 (4, 6年) | |
| 17日 学級懇談 (動画配信) | |
| ～25日 | |



当 面 の 間 時 差 登 校

緊急事態宣言が解除され、懸念されていたリバウンド状況となっています。このことを受け、状況が落ち着くまでのしばらくの間、これまで同様に時差登校を続けてまいります。お子様の安全を守るために、ご理解をいただきたいと思ひます。

今月の目標

「きまりを守って、
落ち着いた生活をしましょう。」

灌 仏 会



4月8日は仏教を開いたお釈迦さまの誕生日で、「灌仏会花祭り」といいます。お寺では、大人から子どもまで、みんなが集まってお釈迦さまの誕生仏に甘茶をかける行事が行われます。

花祭りは、お釈迦さまがお生まれになったことをお祝いして感謝する行事です。

そのお祭りには、お釈迦さまの姿と白い象をよく見かけます。なぜ白い象なのでしょう。

それは、お釈迦さまが生まれる前に、母であるマーヤー夫人が夢の中で、6本の牙をもつ白い象が、右脇から体内に入ってくるのを見られたという伝説に由来しています。

たくさんいる象の中で、白い象は突然変異で非常に珍しいため、今でも神聖なものとして大事にされています。お釈迦さまがすばらしい方だということをお話です。



ち ゃ っ と う れ し い 話

～ 世界に1冊の 詩集作りました ～

3年生になった芳賀さんは、2年生の時、宿題を終えた後に、大好きな詩を作ることを続けてきました。金子みすゞさんの詩が大好きで、何度も読んでいたそうです。

作品は、嬉しかったこと、驚いたこと、身の回りで発見した新たなことなど、素直な言葉とさし絵で表現されています。作品がたくさん書きあがったので、おじさまが1冊の詩集にしてくれたそうです。自分で時間を生み出して大好きな世界を楽しむことは、私たち大人も真似したいものです。

